

(お知らせ)

令和元年11月27日
防衛大学校

防衛大学校本科第68期学生一般採用試験第1次試験世界史
試験問題における不適切な出題について

令和元年11月9日(土)に実施した防衛大学校本科第68期学生一般採用試験第1次試験人文・社会科学専攻の選択科目である「世界史」において、下記のとおり不適切な問題が存在することが判明しましたので、お知らせいたします。

なお、採点にあたっては、受験者に不利益が生じないよう措置を講じ、第1次試験合格者を発表いたしました。

受験者並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

記

1 複数正答の内容

一般採用試験(第1次試験)世界史試験問題(「人文・社会科学専攻」選択科目)

問	内容
設問15	選択肢(C)と(D)が設問に該当することから、2つの正答が生起することが判明しました。

※問題文等、細部は別添参照。

2 対応措置

受験者全員この問題を正解として取り扱うこととし、受験者に不利益が生じないように措置を講じました。

3 今後の対応

正確な試験問題が作成されるよう再発防止策を講じて参ります。

(問い合わせ先)

防衛大学校 教務部 入学試験課

電話：046-841-3810

引田入学試験課長 (内線2150)

(参考) 複数正答の試験問題

【102】

1392年、李成桂は、朝鮮王朝を建て、漢城に首都を置いた。朝鮮王朝は、外政面では明と冊封関係を結んで国際的地位を確保した。内政面では を採用して社会秩序を整えた。また文化面ではハングルがつくられ、金属活字による活版印刷術が実用化された。

政治の実権を握った^[イ]両班は、15世紀よりしばしば激しい政争をおこした。16世紀末には、豊臣秀吉による文禄・慶長の役を受けて領土は荒廃した。だが、李舜臣の率いる海軍の活躍や明の軍事的支援によって、朝鮮王朝はその撃退に成功した。その後、日本に江戸幕府が成立すると、朝鮮王朝は、1607年に日本と国交を回復した。

^[ウ]17～18世紀の清朝の隆盛と周辺への攻勢の動きは、東アジア・東南アジア諸国にとって脅威であった。朝鮮王朝は、清朝が成立すると、ただちにその冊封を受けた。そして、^[エ]琉球、ベトナム、タイ、ミャンマー（ビルマ）などの諸国も、清朝の冊封体制のもとに組み込まれた。

設問15 下線部 [エ] について、18世紀に清朝の冊封体制に組み込まれたミャンマーの王朝に関する説明として適切なものはどれか。以下のA～Dのなかから選択しなさい。

- A 17世紀中頃にイスラーム化し、18世紀には東南アジア有数の交易とイスラーム諸学の中心地として繁栄した。
- B 東南アジア大陸部の交易の中心地として栄え、中国には林邑・占城などの名称で知られた。文化面では、インド文明受容の影響が強かったといわれる。
- C 16世紀に樹立された王朝である。この王朝は、その世紀の後半には、タイやラオスまでも支配下におくなど広大な領土を形成した。
- D ミャンマーの最後の王朝である。19世紀には、イギリスとの3度の戦いに敗北した。

⇒ タウンゲー朝に関する記述である「(C)」と、コンバウン朝に関する記述である「(D)」が設問に該当することから、2つの正答が生起